

令和7年 8/15 (金)

13:00 開演 (12:30 開場)

函館八幡宮 本殿

【入場料】(全席自由) 金三、〇〇〇以上 思し召し

函館八幡宮奉賛会会長 藤井方雄

奉納 函館八幡宮 長唄演奏会

鞍馬山

三曲糸の調

時雨西行

杵屋東成(人間国宝)／杵屋勝祿 他

【特別協力】函館八幡宮
【企画・制作】一般財団法人杵勝会



奉納長唄演奏会

唄

屋 屋
勝 勝
国 十
悠 朗

京都鞍馬山の夜の情景で始まります。父の仇討のため多聞天に毎晩祈念する牛若丸は、三歳の時に東光坊の里で平宗清により母常盤御前と共に命を助けられたこと、鞍馬山の東光坊に預けられて十数年が経つてきて立廻りとない、やがて天狗は姿を消します。天狗が討ちかかってきて立廻りとない

唄

屋 屋
勝 小
国 三
悠 郎

文楽や歌舞伎『壇浦兜軍記』の「阿古屋奏琴の場」は、景清の行方を知らないと言ふ愛人の遊女阿古屋に筆・三味線・胡弓を弾かせ、その真偽を調べる場面である。本曲は、その三曲を一曲にまとめた、その真偽を調べる「吉野田の」から胡弓、三味線、胡弓を弾く部分から、音に乱れがないのは偽りのない証拠として阿古屋は釈放されます。結局、筆、三味線、胡弓を弾く部分から、音に乱れがないのは偽りのない証拠として阿古屋は釈放されます。結局、

屋屋屋
小勝勝
三十三郎
郎郎禄

諸國を廻る西行法師が摂津の國、江口の里に着くと、日が暮れ時雨も降るので、一夜の宿を乞います。主の遊女に断られますが、歌を残して立ち去ると、歌に感じた遊女が西行を家に入れます。その夜二人が互いに自分の素性を話すうち、遊女は普賢菩薩の姿に変わります。能（江口）を題材として、二世勝三郎が父、初世勝三郎の七回忌追善のために作曲しました。

杵屋東成

杵屋勝四郎

杵屋勝彦

杵屋勝四助

【詩詞易】

杵
屋
勝
祿

杵屋勝十郎

杵屋小三郎

杵屋勝國悠

【後後】

函館八幡宮

藤井方雄こと

名知哲哉こと

○

函館市

函館バス(株)

【チラシデザイン】

配川美

一般財団法

2025年 8月 15日(金) 13時開演(12時半開場)

函館八幡宮 本殿

住所 北海道函館市谷地頭町2番5号

チケット 全席自由 (椅子席) 金3,000 以上思し召し

函館八幡宮奉賛会会長 藤井方雄

【お申込み・お問い合わせ】

函館八幡宮 〒040-0046 北海道函館市谷地頭町2番5号

・電話 0138-22-3636 ・FAX 0138-22-5316 ・Eメール : hakodate@hachimangu.jp

【会場へのアクセス】

●函館市電2系統 谷地頭終点 徒歩10分 ●函館バス 谷地頭温泉バス停 徒歩5分
駐車場が狭く、混雑する為、上記公共交通ご利用にてご来場下さい